

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	颯娃おこそ会
役職	
氏名	原本太郎
着任日	令和3年4月1日

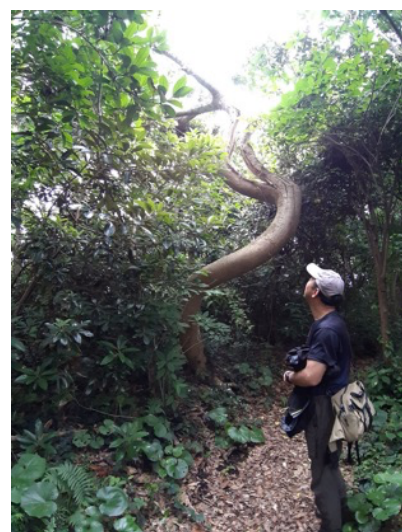
活動月	令和3年5月（着任2ヶ月）
主な活動	1.番所鼻公園パークマネジメントに向けた企画作成 2.地域メディア EIGO との連携調整、市内事例視察

1. 番所鼻公園パークマネジメントに向けた企画作成

公民連携によるパークマネジメントの推進に向けて、これまでの背景や事業の目的・目標を整理し、今後3～4年間の実施内容や組織体制を検討しました。

番所鼻公園を含む薩南海岸は今年、県立自然公園に指定されました。その豊かな自然環境と絶景を守っていくため、番所鼻公園では「遊べる」「稼げる」「つながる」をキーワードに、公園の魅力向上や維持管理などの活動の礎となるコミュニティづくりを行っていくことで、持続可能な公園運営のしくみづくりを目指しています。

企画作成にあたっては、過去の公園での取り組みを振り返るため、公園の草刈りやシーホークウォークを歩きながら、これまでの公園整備やソフト事業、維持管理活動に関する話を詳しく伺い、改めて、番所の海と森のポテンシャルの高さと継続的に管理していくことの大変さを強く感じました。



2. 地域メディア EIGO との連携調整、市内事例視察

今後の番所鼻公園の情報発信に向けて、地域メディア EIGO チームとミーティングを行いました。ローカルな情報を発信する際に、人にフォーカスした暮らしや営みの発信が重要であるとともに、特にコロナ禍においては正しい情報をリアルタイムに収集・発信していくことが大事と感じました。

また、市内の公民連携による公共空間運営の事例として、「かわなべ馬事公苑」を伺い、森と木の研究所さんに現地を案内してもらい、お話を伺いました。

馬事公苑では各種助成事業等を活用しながら、ボランティアベースで森の管理活動を行いつつ、木を活用したフィールドアスレチックやウッドデッキにより子供も大人も楽しめる空間がつくられていました。今後、番所鼻公園でも、森の環境を整えつつ、活用していくためのアドバイスをいただきました。

